

1 うるま市総合交通戦略の概要

1. うるま市総合交通戦略策定の背景、目的、位置づけ

うるま市総合交通戦略（以下、総合交通戦略という）は、進展する少子・超高齢社会への対応、交通渋滞の緩和、交通に起因する環境負荷の低減等のため、過度に自家用車利用に依存することなく、徒歩、自転車、公共交通等の各モードが連携し適切な役割分担のもと、望ましい都市像の実現を図るため、本市が抱える多様な交通課題に対応すべく、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図ることを目的に策定するものである。

なお、本市では、2019年3月に、総合計画や都市計画マスタープランで掲げる将来像実現のため、地域拠点間を結ぶ交通ネットワークの強化、観光資源を活かせるような観光周遊ネットワークの構築、物流円滑化と交通負荷軽減に向けた産業に資するネットワークの構築などの課題を解決するため、交通まちづくりの観点から上位計画として「うるま市交通基本計画」（以下、交通基本計画という）を策定している。総合交通戦略では交通基本計画に基づき、短・中期（5年～10年）で優先的に取り組むべき施策の具体的な内容や整備方針、推進体制、実施目標時期などを明確にし、市民・事業者・行政等がそれぞれの役割のもと取り組むものである。

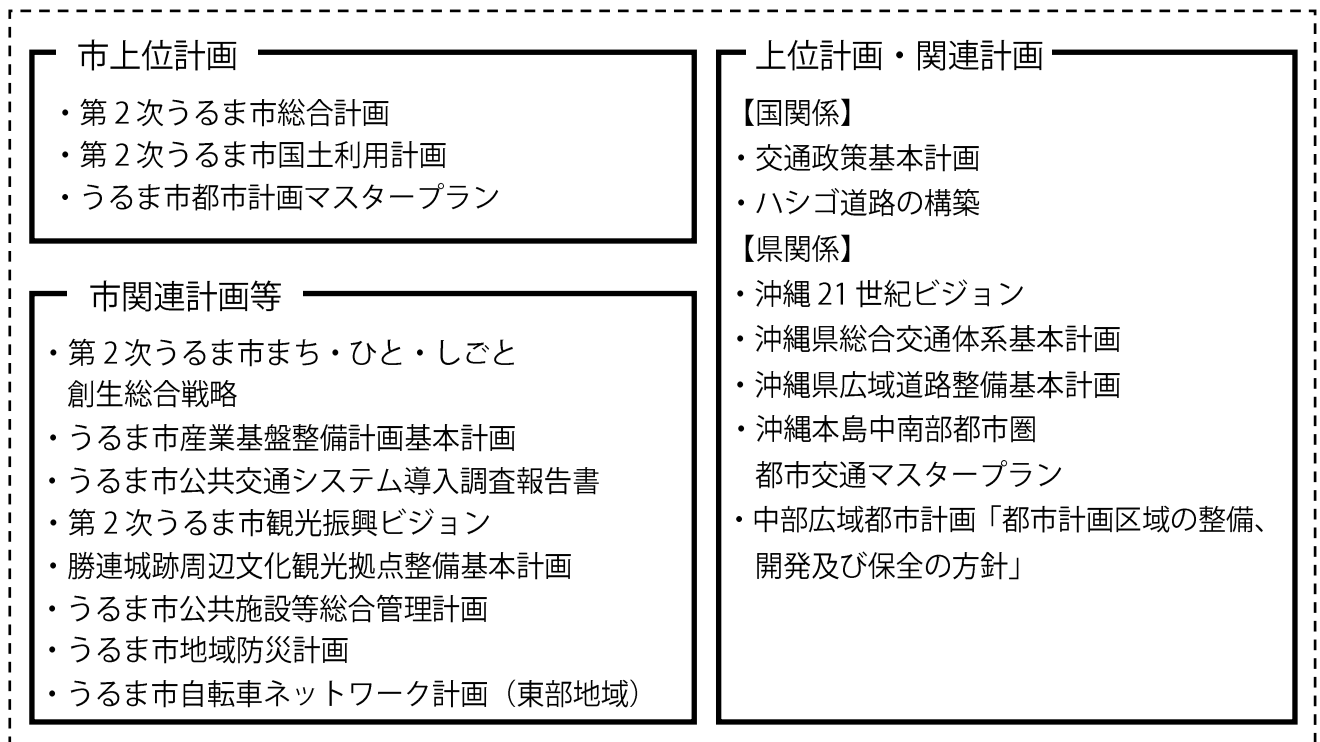


図 1 計画の位置づけ

2. 計画の目標年次

総合交通戦略の目標年次は、事業開始年次である2020年度から交通基本計画の短・中期完了の2030年度までの概ね10年間とする。また、中間目標年次である短期完了時（2025年度）には、その時点での計画目標の達成状況を検証し、必要に応じて施策の内容等を見直すものとする。

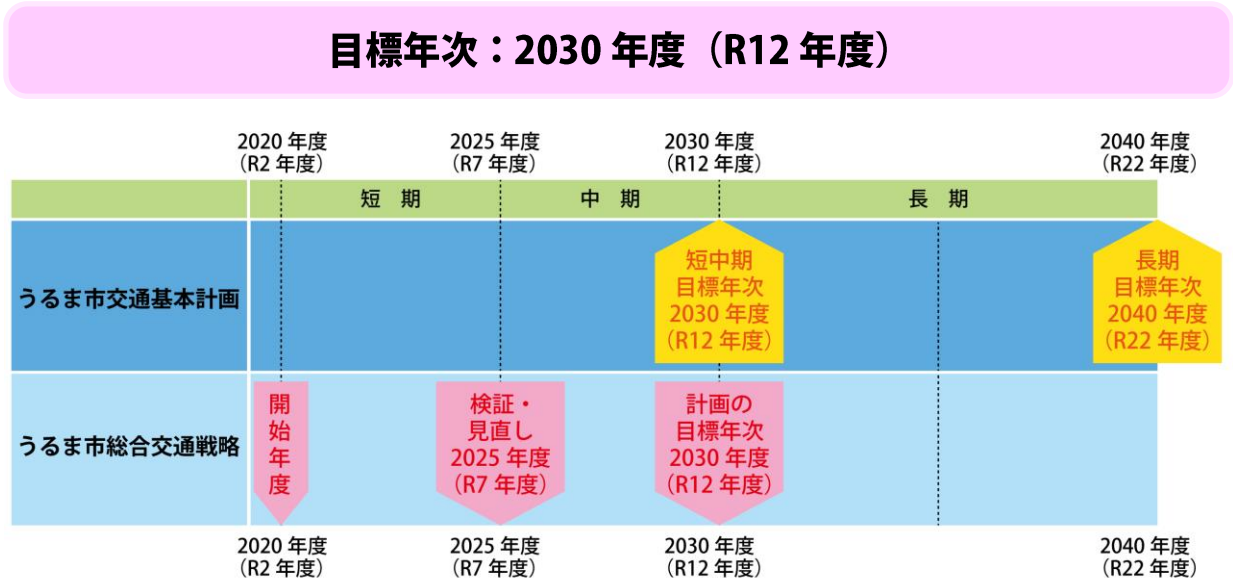


図 2 目標年次

3. 計画の区域

計画の区域は市全域とするが、必要に応じて周辺市町村も含めて検討する。